

団体名	琉球大学						
事業名	SDGsグローバルリーダーシップ島嶼地域貢献事業						
実施期間	令和3年5月27日-令和4年1月22日						
場 所	伊江村、南城市、琉球大学						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	13	7	21	15	16	5	77名

<実施内容>

本事業は、琉球大学留学生の短期受入「グローバル・リーダーシップ・プログラム」によるSDGs(持続可能な開発目標)課題解決活動を通じた留学生と日本人学生の協働による地域への貢献との交流促進を目的とし、SDGsの中でも特に4)質の高い教育、8)労働環境と経済成長といった島嶼地域としての沖縄が避けて通れない課題について、留学生の多様な視点を活用し、離島とのオンライングローバル教育、地域振興のための持続的観光マネジメント・モニタリングを実施し、フランス、台湾、インドネシア、ベナン、中国といった多彩な国々の留学生が参加しました。

伊江島での伊江中学校生徒とのオンライングローバル交流においては、フランス、インドネシアからそれぞれ国紹介、中学校の方からも伊江島紹介のプレゼンテーションが英語で行われた後、活発な意見交換が行われました。

グローバル・リーダーシップ・プログラムにおける国際共修科目「グローバル実践研修」として2回実施された南城市での観光モニタリングにおいては、コロナ感染症対策を万全に整え、対面で実施しました。専門家による観光産業についての講義を受けた後、留学生と日本人学生がチームを組んで、南城市の観光スポットを実地見分し、南城市、南城市観光協会、南城市インバウンド事業関係者に向けて、新しいアイデアのツアープランを英語でプレゼンテーションした。南城市の特徴を活かしつつ、グローバルスタンダードを満たす持続可能な観光に向けて、外国人としての的確な評価、指摘を含んだ提案がなされ、活発な意見交換となり、意義深い地域交流・貢献となりました。

また、「グローバル実践演習」の一環として実施された「グローバル・フェスティバル」においては、多言語によるオンラインSDGsゲームアプリの開発、沖縄特有の貧困問題、ごみ問題といった地域課題に取り組むプロジェクトが留学生、日本人学生の協働によって実施され、地域交流活動を継続している西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト(NS2BP)、伊江島中学校生徒のプレゼンテーションも披露され、多面的な交流となりました。

この事業の実施により、教育機会の不均衡にあえぐ離島地域に、グローバル意識向上のための安定的かつ多様な教育リソース提供の可能性が確認され、観光の持続的グローバル化についての課題発見、ソリューション開発の展望も見出され、沖縄県の教育、経済の振興にとって大きな波及効果が期待されます。

<記録写真>



伊江島オンライングローバル交流

南城市研修

グローバル・フェスティバル

<参加者からのコメント>

クレド・アヒソウさん(ベナン)/N. Crédo Adelphe Ahissou チン ショウジュウ 陳筱柔さん(台湾)/CHEN, HSIAO-JOU

本研修に参加でき、とても素晴らしい機会となりました。研修を行った南城市は自然だけでなく、歴史・文化の宝庫で、美しい景色、癒しの空間、おいしい食べ物、居心地のよい宿泊にあふれていることを学びました。自治体によって健康・福祉に資する環境も積極的に整備され、個人、家族、カップルあらゆる形態の旅行者にとって、大都会の喧騒を離れて快適な時間を過ごせる場所になっています。世界中からたくさんの人々に訪れて欲しいです。この南城市という素晴らしい地域に少しでも貢献できたとしたら大変光栄です。この事業を他の留学生、外国人の方々に大いに勧めたいと思います。企画をしてくださった先生方、南城市の皆さん、そして一緒にチームワークをした日本人学生の皆さんに感謝します。

この事業の核は誰がSDGsを担うべきかという問いでした。それはすべての人であり、私のチームはビーチクリーンとごみの分別について、時間をかけて計画し、私は台湾のごみの分別を紹介する役割を担いました。チームのディスカッションやプレゼンテーションに日本語を使用するのは初めての経験でしたが、「チャンプリンガル」という国際コミュニケーションの考え方に大変助けられ、自分がまだ得意でない言語をどのように上達させるのかという点においてとても素晴らしい機会となり、結果的に上達することができました。コロナ禍でオンラインであったことが残念ですが、対面であればより素晴らしい経験になると思います。